

神田地区活動計画



元気いっぱい ふれあいの神田

笑い声の聞こえるまち、いつまでも住み続けたいと思うまちをめざして、住民やいろいろな団体がともにつながり、みんなにやさしい地域づくりを行います。

神田地区の理想の地域

- あいさつができるまち
- 気軽に相談ができるまち
- 子どもがいきいき過ごせるまち
- 高齢者が仲良く集えるまち
- 地域で助け合って楽しく生活できる
- 集まりやすい場がある
- 世代を超えた交流がある
- 近所の人たちと交流がある
- 安心して生活できる
- 日ごろから顔の見えるつながりがある
- 緑や花のあふれるまち



理想の地域を
実現するために

①居場所をつくる

- 子どもや高齢者が一緒に集える場所
- 未就園児の子育て広場
- 高齢者が出かける場所⇒散歩コースを紹介
- 誰もが楽しく集える場所
- 幅広い世代が集まるサロンを定期的開催⇒顔見知りを増やす

point

ベンチや池、花壇などの休憩場所が集う場になる





②つながりをつくる

○誰でも参加できるイベントの開催

- ・住民運動会（地域の高齢者やキッズランドと連携）
- ・フリーマーケット、縁日、スポーツなど楽しめるもの
- ・お祭り ・清掃活動 ・防災訓練
- ・ビンゴ大会 ・料理教室 ・花いっぱい活動
- ・会館で子ども中心の行事の開催

point

- ・話し合いからもつながりが生まれる
- ・小学校に集まって行うイベントにすると、子どもも関わってくる

○高齢者と子どもとの交流

⇒例：子どもが高齢者へ肩たたきをしてスタンプを集め、商品と交換

○得意なことを活かしてつながる

⇒例：近所の電球交換などをする
昔遊びなどを子どもに教える

point

男性が仕事を辞めた後の活躍の場として＝担い手不足の解消

○地域のイベントに新しく移り住んだ住民も参加しやすいようにする

○高齢者（特に独居）への見守り活動を子どもが行う

○地域の企業と一緒に活動を行う

○自分から進んで近所の人に声かけするようにする

○隣近所の人とつながる

○各団体の情報共有する場をつくる

○自分たちが学びたいことの講習会を開く

point

- ・共有する場があることで新しいアイデアが出てくるかもしれない
- ・若い人の意見を聞く

③情報

○地域資源の見える化をする

⇒様々な活動があるが、そもそも知らないから参加できない

○回覧板、スマートフォン、掲示板などを使って情報共有

○広報の仕方を工夫する

⇒例：イベント時にそこで遊んでいる子どもに声をかけたら、保護者や人がいっぱい集まったことがあった



ほっこりサロン(多世代交流)



わいわいまつり



住民懇談会